

株主メモ

- 事業年度 3月1日から2月末日まで
- 定時株主総会 5月
- 基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月末日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定め
た日
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告を行うことができない事故その他
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に
掲載いたします。
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701)
(電話お問合せ先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
- 同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株式会社テイツー

IR窓口:東京都港区芝公園2丁目4番1号 秀和芝パークビルA館8F

TEL (03) 5408-5100 メールアドレス ir@tay2.co.jp

インターネットホームページ <http://www.tay2.co.jp>

第16期 事業報告書

2005年3月1日～2006年2月28日

株式会社テイツー



代表取締役社長 大橋康宏

Q 2006年2月期の業績についてお聞かせください

A 2006年2月期は、古本市場事業に関しましては、リサイクル品の販売強化、店舗レイアウトの変更、出店から年数の経過した店舗の改装など既存店の競争力向上に注力した結果、新型ゲーム機の発売がないなど前年に比べて厳しい年末年始商戦だったにもかかわらず、既存店売上高の対前年比は0.8%増と増収基調を継続いたしました。アイ・カフェ事業に関しても、店舗業務のマニュアル化や出店コストの引下げなど多店舗展開に向けた体制構築に注力し、F C店7店舗を出店いたしました。また、E C事業に関しても、携帯電話3キャリアすべてのショッピングメニューをカバーし、モバイルコマースへの対応を強化いたしました。こうした結果、連結売上高は355億5千6百万円（前期比5.7%増）と過去最高を更新いたしました。

一方、利益面に関しましては、古本在庫の一部評価見直しや、古本市場、ブック・スクウェア店舗の減損処理の実施などに伴う3億5千5百万円の特別損失を計上したことなどから、連結経常利益6億7千2百万円（前期比12.9%減）、連結当期純利益1億6千万円（同60.5%減）と前年を下回る結果となりました。

古本や音楽CDなど古本市場事業を巡る市場環境は成熟化が進み、F C加盟候補企業の関心は古本市場からアイ・カフェに向き始めており、今後はF Cビジネスの中心をより多くの出店が見込めるアイ・カフェ事業にシフトさせる計画であります。当社では、古本市場の新規出店時の初期在庫準備機能として物流センターにて古本の在庫管理を行っておりますが、そうした経営方針の変更を背景に、財務内容の健全化および総資産の圧縮による資産効率の向上、物流センターの規模の適正化による販売管理費の低減を図ることを目的として、物流センターにおける古本在庫の一部の評価を見直しいたしました。


これらの処理は、将来に発生する恐れの高い負担を前倒して計上するものであり、将来に向けた前向きな処理であるご理解いただければ幸いです。

Q アイ・カフェの事業統合の狙いについてお聞かせください

A 従来のアイ・カフェ事業においては、当社の子会社である株式会社アイ・カフェがアイ・カフェ事業のフランチャイズ本部、当社の運営するアイ・カフェ店舗がそのフランチャイズ加盟店という関係にありましたが、2006年9月をもって、当社の運営するアイ・カフェ店舗およびその関連部門を、分社型吸収分割により株式会社アイ・カフェに承継させることといたしました。これによりアイ・カフェ事業がひとつの事業体に集約されることとなり、機動的な意志決定や業務効率の改善など、さらなる事業の発展につながるものと認識しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします

A 2006年2月期は、増収ながらも減益という結果に終わり、株主の皆様にはご心配をおかけしたことと思いますが、損失の多くは、将来に向けた前向きなものであると認識しており、2007年2月期は、株主価値の向上に向け、新たなスタートの期であると考えております。

古本市場事業に関しましては、引き続き、店舗競争力の強化に注力し安定的な利益成長を図るとともに、新業態の開発に積極的にチャレンジしてまいります。アイ・カフェ事業に関しましては、F C店を中心に積極的な出店を継続するとともに、店舗オペレーションを徹底的に見直すことによる店舗収益力の向上を図ってまいります。また、2006年5月3日には札幌市中央区に、従来のアイ・カフェに岩盤浴施設を併設した新業態店舗をオープンいたしました。引き続きアイ・カフェのさらなる進化に努めてまいります。E C事業に関しましては、新商品・新サービスの導入を可能にする新しいE Cサイトシステムの導入を計画しており、を単なるネット通販サイトから、コミュニティ機能を付加しユーザー間の情報交換から新しいニーズやトレンドを創造する総合メディアサイトへ進化させてまいります。

株主の皆様には、これまでと変わらぬご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

Sales Activities 営業の概況

2006年2月期の連結売上高は、古本市場事業、アイ・カフェ事業、EC事業ともに前期を上回り、355億5千6百万円（前期比5.7%増）となりました。一方利益面では、従来、岡山と東京に分かれていた本社機能を東京本部に集約したことに伴う移転費用の発生に加え、古本在庫の一部評価の見直しおよび一部店舗の減損処理の実施などに伴う特別損失3億5千5百万円の計上などにより、連結経常利益は6億7千2百万円（同12.9%減）、連結当期純利益は1億6千万円（同60.5%減）となりました。

古本市場事業

古本市場事業においては、古本や音楽CDなど市場の成熟化が進む中、安定的な利益成長を図るため、古本を中心にリサイクル品の販売体制を強化したほか、マーケットの変化に対応した店舗レイアウトの変更、オペレーションマニュアルの見直しなどによる売場作りの強化など、店舗競争力の強化に注力いたしました。また、新規出店としては、直営店として、古本市場灘店（神戸市）、古本市場市川鬼高店（千葉県）、ブック・スクウェア三交店（三重県）の3店舗を出店したほか、出店から年数の経過した店舗の改装に注力し、8店舗の店舗改装を実施いたしました。

販促活動の面におきましては、夏のキャンペーンとして「ふるいち探検隊キャンペーン1&2」や、イラストレーター後藤貴志氏とのコラボレーションによる文庫本販促キャンペーンを実施し、各種商材の売上拡大を図りました。

こうした結果、古本市場事業の売上高は325億3千7百万円（前期比2.2%増）、営業利益は17億6千3百万円（同8.1%増）となりました。また、2005年7月1日付けで、連結子会社であった株式会社ブック・スクウェア中部を吸収合併しブック・スクウェア各店舗を当社直轄といたしました。

アイカフェ事業

アイ・カフェ事業においては、インターネット・コミック・カフェ市場が大きく拡大している中、アイ・カフェの多店舗化に向け、開店業務を担当するオープンバイザーの設置や開店・店舗運営関係業務のマニュアル化、アイ・カフェとして



のクオリティを維持しながらの投資コストの引き下げなど、FC店の出店拡大に向けた体制の構築に注力いたしました。こうした結果、新規出店としては、直営店3店舗のほか、FC店7店舗を出店し、FC店の出店が加速してまいりました。

店舗運営面においては、アイ・カフェ店内で視聴いただける映像コンテンツの拡充、一部店舗における店舗改装の実施、季節に合わせた新メニュー、新サービスを導入するなど顧客サービスの向上に努めました。

また、連結子会社のインターピア株式会社においても、インターネット・コミック・カフェ向けの店舗運営管理システム「Necca-Manager System Solution」の販売が拡大し、順調に業績を伸ばしております。

こうした結果、新店の出店に加え既存店の売上高も伸長し、アイ・カフェ事業の売上高は25億3千9百万円（前期比93.5%増）となりました。一方、利益面におきましては、既存店の業績は向上しているものの、直営店3店舗の出店に伴う出店費用の発生などにより、営業損失1億8千2百万円（前期は営業損失2億2千9百万円）となりました。

EC事業

EC事業においては、携帯電話3キャリアすべてのショッピングメニューに「古本市場」をオープンさせ、市場が急速な勢いで拡大しているモバイルコマース（携帯電話など移動体通信サービスを利用した電子商取引）への取組を強化いたしました。

こうした結果、当期からの卸売業務の大幅な縮小にもかかわらず、EC事業の売上高は前年とほぼ同水準の4億7千8百万円（前期比0.0%増）となりました。

一方、利益面においては、2,000円（税込）以上購入のお客様を対象にした送料無料キャンペーンを実施するなどの販促施策を展開したほか、アクセス数の増加やサイトのユーザビリティ（利便性）の向上のためのシステム増強投資を行った影響などにより、営業損失2千7百万円（前期は営業利益1千2百万円）となりました。

事業の種類別セグメント情報は10ページをご参照下さい。

アイ・カフェ^{plus}のるべさ NORBESA店オープン

2006年5月3日、アイ・カフェに岩盤浴施設を併設した、アイ・カフェ+plusデトックス・スパ石の恵NORBESA店がオープンいたしました。

屋上に大型観覧車を配した新しいランドマークとして札幌市の中心部にオープンした複合商業施設「NORBESA」内に位置し、380坪という広大な店内は、280坪のネットカフェと100坪の岩盤浴から構成されています。健康、美容、疲労回復に効果が期待できる岩盤浴は、昨今非常に注目を集めておりますが、当社岩盤浴の特長は北海道産の天然ブラックシリカを使用していることです。この岩盤の上に横になっていただくだけで、ブラックシリカから放射される遠赤外線によって、体の芯まで温まり、細胞や血液の流れを活性化させ、汗とともに老廃物を排出します。また、岩盤浴で発汗する汗は運動などで出る汗とは異なり、保湿効果があるサラサラでべとつかない汗が大量に出るため、肌をしっとりさせる働きがあるといわれています。

カップル・友人・家族とご一緒に利用いただけるVIPルームを3室設けたほか、アイ・カフェでご好評をいただいている豊富なフリードリンクを岩盤浴でもご用意するなど、従来の岩盤浴施設とは一線を画す高級感のある店舗となっております。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただければと思います。

住所 札幌市中央区南三条西5-1-1 NORBESA 4F

地下鉄南北線 すすきの駅より徒歩2分

TEL 011-242-5005

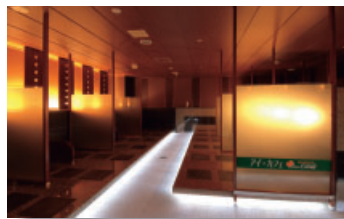
デトックス・スパ石の恵ホームページ <http://www.ishinomegumi.jp>



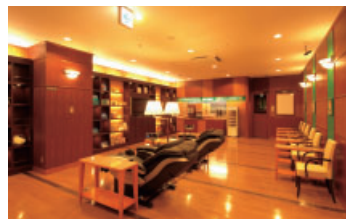
札幌市の複合商業施設「NORBESA」



エントランス



岩盤浴設備

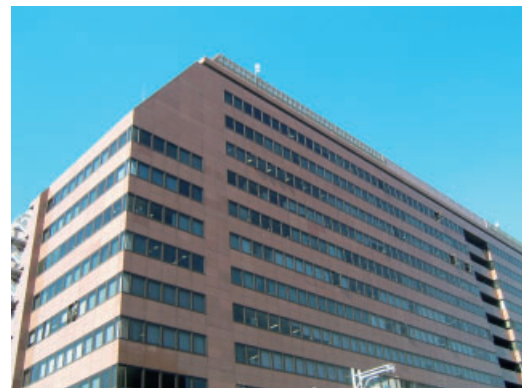


休憩室

古本市場店舗改装の実施

2006年2月末現在の古本市場の直営店の数は全国78店舗に達していますが、第1号店の出店からおよそ15年が経過し、オープンから年数を経過した店舗も徐々に増加してきております。当社では、こうした店舗年齢の高くなった店舗の改装を積極的に実施しており、2006年2月期は外観の一部のみを改装した店舗も含めて8店舗の店舗改装を実施いたしました。また、一部の店舗においては、売場面積を拡大させることにより、新商品を導入いたしました。今後も、店舗競争力を維持するとともに顧客満足度を向上させるため、店舗改装を継続してまいります。

テイツーグループ東京本部開設



東京本部の入居する芝パークビル

当社グループの活動領域が日本全国に拡大している中で、従来、岡山と東京に分かれていた、古本市場、アイ・カフェ、事業開発、サービスの各カンパニーの主要部門を東京に集約し、東京に本社を置く連結子会社の株式会社ユーブック、インターピア株式会社を含めた当社グループ内の連携をこれまで以上に強化するとともに、業務の効率化を図ることを目的として、2005年10月1日に東京本部を新設いたしました。

新オフィスは120度の角度の机を組み合わせた斬新なレイアウトとなっており、業務に集中できる環境

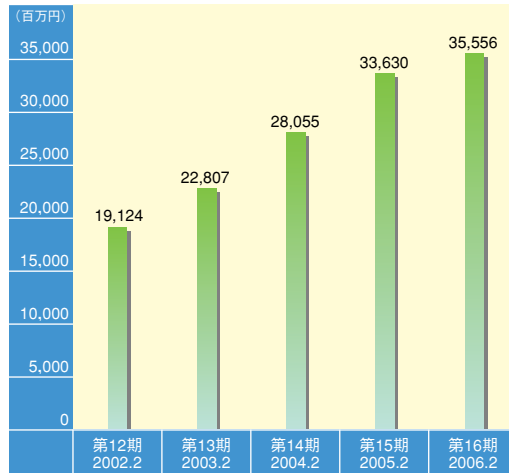


オフィス内部

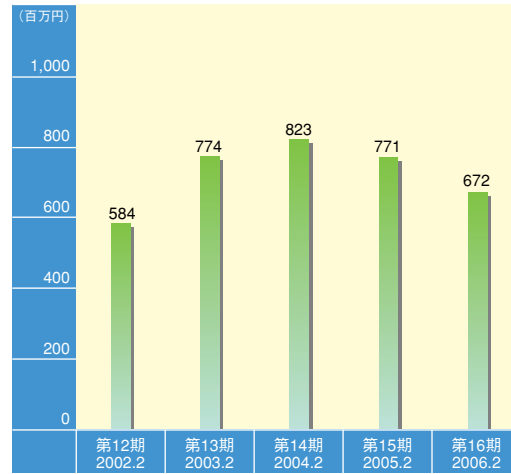
でありながら、周囲の社員ともコミュニケーションをとりやすく、業務効率の改善、事業のさらなる発展に寄与するとともに、リクルーティングの面でも優秀な人材の確保が可能になるものと考えております。

Financial Highlight 財務データ (連結)

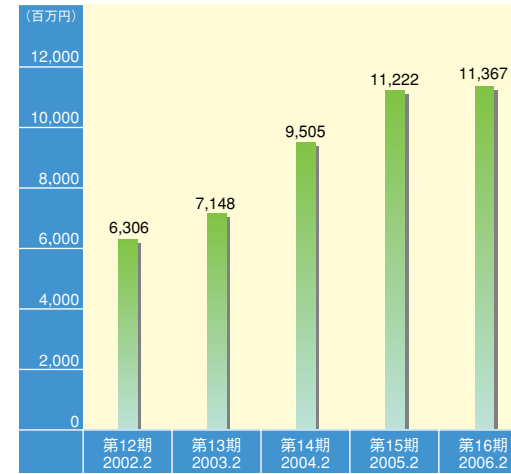
売上高



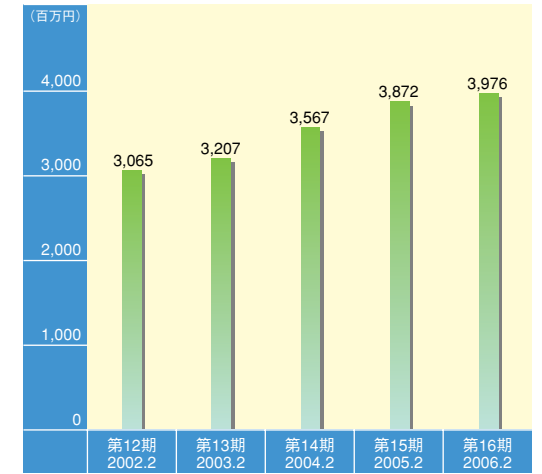
経常利益



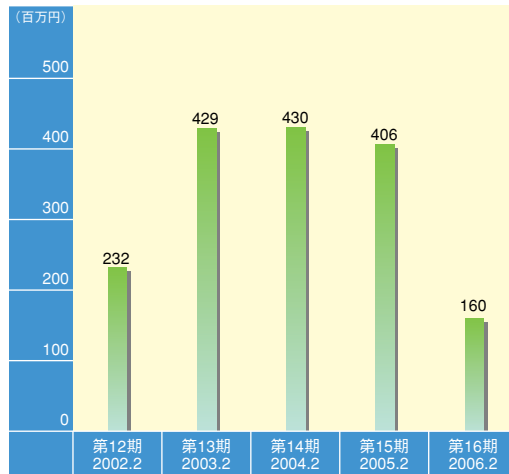
総資産



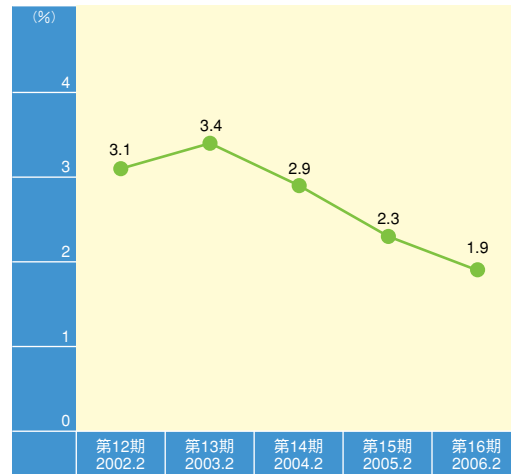
純資産



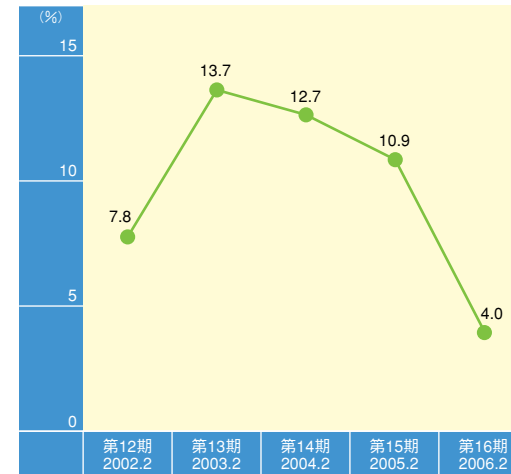
当期純利益



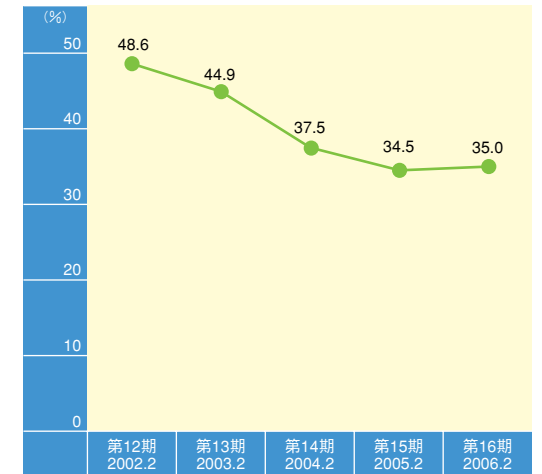
売上高経常利益率



株主資本利益率 (ROE)



株主資本比率



Financial Data 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2006年2月28日現在)	前期 (2005年2月28日現在)	科目	当期 (2006年2月28日現在)	前期 (2005年2月28日現在)
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	6,152	5,970	流動負債	4,877	4,710
現金及び預金	1,452	1,444	買掛金	1,346	1,209
たな卸資産	3,779	3,704	短期借入金	1,700	1,200
繰延税金資産	266	212	1年内返済予定長期借入金	835	942
その他	653	609	未払金	345	319
固定資産	5,215	5,251	未払法人税等	62	274
有形固定資産	2,418	2,478	ポイント値引引当金	263	257
建物及び構築物	1,793	1,806	その他	324	506
土地	242	242	固定負債	2,193	2,397
その他	381	429	長期借入金	1,819	2,071
無形固定資産	267	365	その他	373	326
ソフトウェア	163	191	負債合計	7,070	7,107
その他	104	173	【少数株主持分】		
投資その他の資産	2,529	2,408	少数株主持分	320	242
投資有価証券	164	196	【資本の部】		
長期貸付金	464	523	資本金	1,149	1,123
繰延税金資産	355	301	資本剰余金	1,103	1,077
差入保証金	1,406	1,252	利益剰余金	2,009	1,959
その他	137	135	株式等評価差額金	4	1
			自己株式	△290	△290
			資本合計	3,976	3,872
資産合計	11,367	11,222	負債、少数株主持分及び資本合計	11,367	11,222

ポイント解説 1

古本市場直営店2店舗、アイ・カフェ直営店3店舗の出店などにより、差入保証金が増加しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)	前期 (2004年3月1日から 2005年2月28日まで)
営業収益	35,556	33,630
売上高	35,556	33,630
営業費用	34,877	32,839
売上原価	26,200	24,672
販売費及び一般管理費	8,676	8,167
営業利益	679	790
営業外収益	117	105
受取利息及び配当金	2	2
その他	115	102
営業外費用	125	124
支払利息	51	45
その他	73	78
経常利益	672	771
特別利益	46	142
特別損失	355	138
税金等調整前当期純利益	362	775
法人税、住民税及び事業税	287	521
法人税等調整額	△110	△191
少数株主利益	24	39
当期純利益	160	406

ポイント解説 2

アイ・カフェ事業の成長などにより、連結売上高は5.7%増となりました。

事業の種類別セグメント情報

当期 (2005年3月1日から2006年2月28日まで) (単位:百万円)

	古本市場	アイ・カフェ	EC事業	遊技施設	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	32,537	2,539	478	—	35,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	—	53	△61	—
計	32,545	2,539	532	△61	35,556
営業費用	30,782	2,721	560	812	34,877
営業利益	1,763	△182	△27	△873	679

前期 (2004年3月1日から2005年2月28日まで) (単位:百万円)

	古本市場	アイ・カフェ	EC事業	遊技施設	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	31,838	1,312	478	—	33,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	1	38	△54	—
計	31,853	1,314	516	△54	33,630
営業費用	30,222	1,543	504	568	32,839
営業利益	1,630	△229	12	△623	790

ポイント解説 3

古本在庫の一部評価の見直し、一部店舗の減損処理などにより、3億5千5百万円の特別損失を計上いたしました。

Financial Data 連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)	前期 (2004年3月1日から 2005年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	668	229
税金等調整前当期純利益	362	775
減価償却費	510	689
その他営業活動による増減額	384	△677
小計	1,256	787
法人税等の支払額	△536	△514
その他	△52	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773	△1,071
有形固定資産の取得・売却による収支	△403	△807
無形固定資産の取得による収支	△124	△102
差入保証金の払込・返還による収支	△215	△161
その他	△29	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	113	1,134
短期借入金の純増減額	500	746
長期借入金の借入・返済による収支	△359	463
その他	△27	△74
現金及び現金同等物の増加額	7	292
現金及び現金同等物の期首残高	1,361	1,069
現金及び現金同等物の期末残高	1,369	1,361

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)	前期 (2004年3月1日から 2005年2月28日まで)
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	1,077	1,038
資本剰余金増加高	26	38
資本剰余金期末残高	1,103	1,077
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	1,959	1,658
利益剰余金増加高	160	406
利益剰余金減少高	110	104
利益剰余金期末残高	2,009	1,959

Financial Data 財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2006年2月28日現在)	前期 (2005年2月28日現在)
【資産の部】		
流動資産	5,361	4,923
現金及び預金	842	693
商品	3,674	3,197
その他	844	1,031
固定資産	5,269	5,087
有形固定資産	2,189	1,944
建物	1,516	1,394
その他	673	549
無形固定資産	118	174
投資その他の資産	2,961	2,968
差入保証金	1,336	1,123
その他	1,625	1,844
資産合計	10,631	10,010
【負債の部】		
流動負債	4,514	3,999
買掛金	1,183	875
短期借入金	1,700	1,200
1年内返済予定長期借入金	734	840
その他	896	1,084
固定負債	1,991	1,979
長期借入金	1,630	1,713
その他	360	264
負債合計	6,505	5,978
【資本の部】		
資本金	1,149	1,123
資本剰余金	1,103	1,077
利益剰余金	2,159	2,119
株式等評価差額金	4	1
自己株式	△290	△290
資本合計	4,126	4,031
負債及び資本合計	10,631	10,010

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)	前期 (2004年3月1日から 2005年2月28日まで)
営業収益	33,270	31,112
売上高	33,270	31,112
営業費用	32,593	30,309
売上原価	24,644	22,909
販売費及び一般管理費	7,949	7,399
営業利益	677	803
営業外収益	63	17
営業外費用	94	40
経常利益	646	780
特別利益	46	163
特別損失	363	208
税引前当期純利益	328	735
法人税、住民税及び事業税	273	518
法人税等調整額	△95	△133
当期純利益	150	350
前期繰越利益	308	267
中間配当額	55	55
当期末処分利益	403	563

利益処分

(単位:円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	403,275,232	563,136,260
これを次のとおり処分いたしました。		
利益配当金 (1株につき)	55,709,500 (普通配当110円)	54,901,000 (普通配当110円)
別途積立金	—	200,000,000
次期繰越利益	347,565,732	308,235,260

Stock Information 株式の状況／会社の概要

株式の状況 (2006年2月28日現在)

■ 会社が発行する株式の総数 2,000,000株
 ■ 発行済株式の総数 546,900株

(注) 2005年4月20日をもって1株につき10株の割合で株式分割を行ったこと、およびストックオプションに係る新株予約権の行使により、2005年2月末に比べ492,945株増加しております。

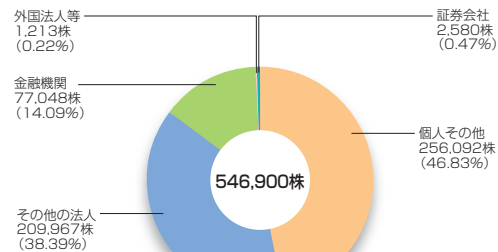
■ 株主数 6,958名

大株主

株主名	持株数	議決権比率
有限会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	165,000 株	32.58 %
秋山良夫	20,000	3.94
株式会社山陰合同銀行	11,000	2.17
ティーツー従業員持株会	10,689	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,005	1.97
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,529	1.88
株式会社中国銀行	8,000	1.57
住田幸雄	7,589	1.49
大橋康宏	7,496	1.48

(注) 当社は自己株式40,450株を保有しておりますが、表記しておりません。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (2006年2月28日現在)

商号 株式会社ティーツー
 英訳名 TAY TWO CO., LTD.
 店舗名 古本市場、アイ・カフェ、ブック・スクウェア
 創業 1989年10月
 設立 1990年4月
 本社 岡山市今村650番111 TEL (086) 243-8600
 東京本部 東京都港区芝公園2丁目4番1号 秀和芝パークビルA館8F
 TEL (03) 5408-5100
 代表者 代表取締役社長 大橋 康宏
 資本金 1,149,645千円
 従業員数 352名 パート・アルバイト1,185名

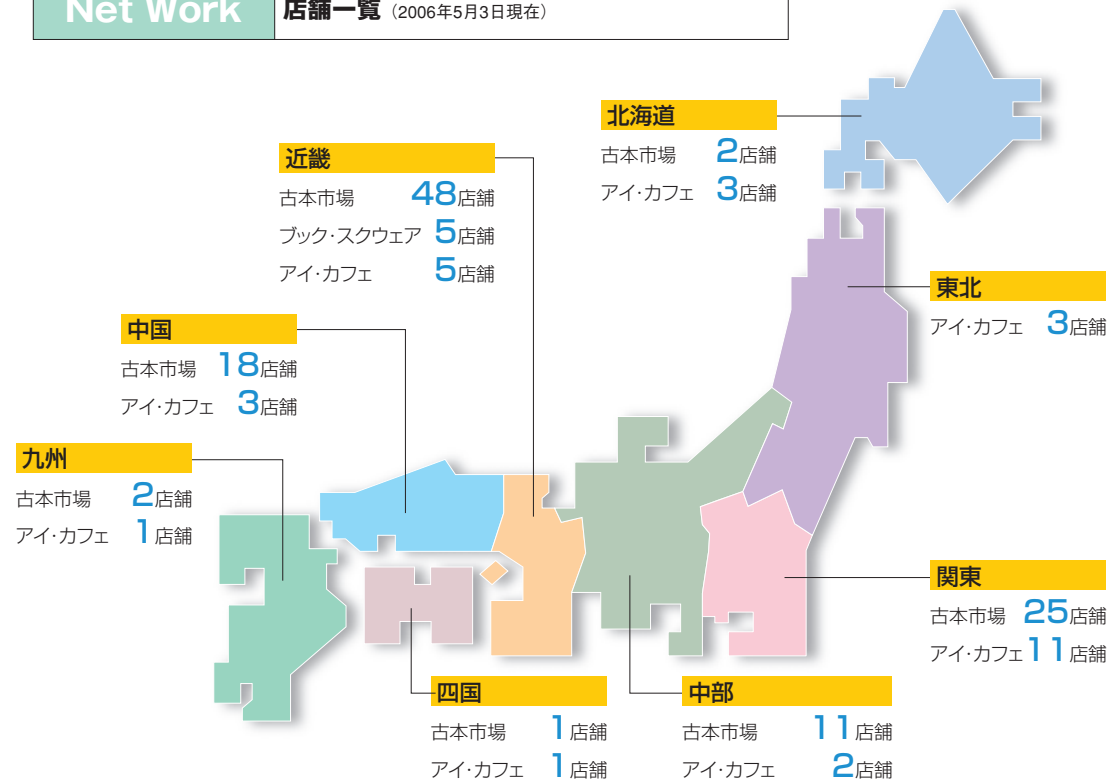
主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、DVD、CD等の販売・買取及び
 ビデオレンタル業務、アイ・カフェ（インターネット・コミック・カフェ）の運営

役員 (2006年5月29日現在)

代表取締役社長 大橋 康宏
 常務取締役 堀 久志
 常務取締役 北村 清人
 取締役 関本 慎治
 取締役 森崎 俊朗
 取締役 片山 靖浩
 取締役 白井 英明
 取締役(社外) 安田 育生
 取締役(社外) 吉田 就彦
 常勤監査役(社外) 西川 豊
 監査役(社外) 平田 修
 監査役(社外) 岡本 博之
 監査役(社外) 武田 由隆

Net Work 店舗一覧 (2006年5月3日現在)



新店舗

古本市場

横越 バイパス店	新潟県新潟市横越上町5-1-6	2005年12月10日オープン
市川 鬼高店	千葉県市川市鬼高3-32-12	2005年12月22日オープン
竹尾 インター店	新潟県新潟市はなみずき3-1-14	2006年 3月 2日オープン
深谷 店	埼玉県深谷市上紫町東5-14-3	2006年 4月27日オープン

アイ・カフェ

Annexら5パーク天童店	山形県天童市南町1-6-25	2005年11月 3日オープン
コマースモール博多店	福岡市博多区東光寺町2-6-40	2005年11月25日オープン
Annex大宮南店	群馬県みどり市大間々町大間々155	2005年12月10日オープン
PABOT'S 函館店	さいたま市大宮区北袋町2-424 2F	2005年12月22日オープン
286KAGITORI店	北海道函館市梁川町9-3パポツ函館2F	2006年 4月 5日オープン
松山キスケBOX店	仙台市太白区鉤取本町1-21-2	2006年 4月21日オープン
鴻巣MEGA-MIX店	愛媛県松山市宮田町4キスケボックス3F	2006年 4月28日オープン
アイ・カフェ+plusデックス/石の恵	埼玉県鴻巣市鎌塚1023-1	2006年 5月 3日オープン

アイ・カフェ+plusデックス/石の恵
 NORBESA 店
 NORBESA4F

札幌市中央区南三条西5-1-1
 NORBESA4F
 2006年 5月 3日オープン

店舗数

